

# 2017ふゆトピア・フェアin函館

## 初の函館での開催祝う

◇オープニングセレモニー◇

### 積雪寒冷地の発展願

【函館発】2017ふゆトピア・フェアin函館の冬を迎えた中、積雪寒冷地の魅力を生かした魅力あるまちづくりを実現するた

め、国や地方公共団体、民間企業などの技術力をPRする。

オープニングセレモニーには、今局長や道の辻泰弘副知事、工藤壽樹函館市長、函館建設業協会の森川基嗣会長らが出席した。はじめにあいさつに立った今局長は「北海道新幹線の開業により、道南圏の交流人口が増加している」と強調。地域の魅力を創出していくためにも、積雪寒冷地の特色を生かしたまちづくりが不可欠だとし、「各種イベントを通じ、地域の発展に寄与できれば」と



今日出入開発局長らが、テープカットで開会を告げた

述べた。辻副知事は、美しい冬景色を北海道の観光資源と評

## 積雪寒冷対策技術を紹介

◇展示会◇

### 33の企業・団体が出展



スに展示し、研究成果をPRした。ふゆトピア展示会は、冬期における生活環境や防災力の向上を目指して開催。観光産業の発展や地域活性化に要する積雪寒冷対策技術や情報を、広く発信することを目的としている。

開場と同時に、多くの関係者や市民らが訪れた

2017ふゆトピア・フェアin函館の「ふゆトピア展示会」が二十六日から二日間、函館アリーナで行われている。㈱ドーコン札幌や㈱構研エンジニアリング(札幌)など、道内と道外を合わせ三十三の企業・団体が出展。積雪寒冷対策技術などを自らのプ

し、「北国ならではの技術が発信できる貴重な機会。積雪寒冷地の活性化につなげていきたい」と抱負を。工藤市長は「冬の函館を楽しんでもらえるよう、イバ

ントの成果をまちづくりに生かしていきたい」と意気込みを示した。最後に、今局長、辻副知事、工藤市長、道の駅みそぎの郷きこない観光コンシ

ンの技術」をテーマに、社会資本整備を通じて培ってきた技術を紹介。「吹雪シミュレーション」「ダム流域における積雪包蔵水量の

## 高い運転技術を披露

◇除雪車チャンピオンシップ◇

### 相互建設の水島さんが優勝

ふゆトピア・フェアin函館の初日、函館競馬場駐車場で除雪車チャンピオンシップが開催された。渡島・松山管内で除雪作業に従事するオペレーターと高速道路で作業をしている㈱ネクスコ・メンテナンスの職員合わせて十二人が参加。五種目で腕を競い、除雪の重要性とそれを支える運転技術の高さをアピールした。

チャンピオンシップは、除雪技術の向上や情報共有を目的に、二十三年から実施。二十六年には釧路で行われ、今回が三回目となる。今回は女性のオペレー

エルジュの津山睦氏ら七人がテープカットを実施。声高らかに開会を告げ、イベントの盛況を願った。

羽二生望副本部長は「私たちの研究成果や技術力を、積雪寒冷地のために生かすことができれば」と抱負を。快適な生活環境をつくるのが総合建設コンサルタント企業の使命とし、「二日間でも多くの方に見てほしい」と期待を寄せている。



女性1人も含め、12人が腕を競った

競技は①機械の点検②ブレード操作性③路側追従性④スフローム⑤車庫入れの五種目。各種目二十点の百点満点で採点する。参加者は全員二百以上のコースで、雪に見立てた砂をきりぎりまで削ったり、軽快にパイロンをすり抜けるなど「日ごころ培った技術を発揮。競技の結果、九十三点を獲得した㈱相互建設(七飯)の水島敏彦さんが優勝の栄誉を手にした。

表彰式では、上位三人が表彰台に登壇。函館建設業協会の森川基嗣会長が、表彰状と記念のトロフィーを手渡した。